

「市民参加に関するインターネットアンケート」の結果について

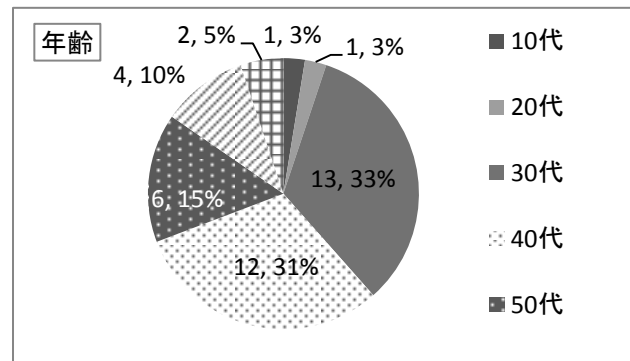
実施期間：平成28年2月23日から平成28年3月13日まで

周知方法：市ホームページのトピックスに掲載のほか、Twitter・Facebookに掲載

アンケート調査の対象：
 ・市内に居住する方
 ・市内の事務所、事業所等に勤務する方
 ・市内の学校に在学する方
 ・市内に事務所、事業所等を有する方
 ・その他市内において活動を行う方

年齢をお答えください。

設問	年齢
10代	1
20代	1
30代	13
40代	12
50代	6
60代	4
70歳以上	2
総計	39



問1 あなたは、パブリックコメントや、市の審議会等の公募市民など、市の政策（政策・施策・事務事業等）に意見等を反映できる機会があることを知っていますか？

問1 設問	年齢別							総計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
意見等を提案できることは知っていた		1	9	9	6	1	2	28
意見等を提案できることは知らなかった	1		4	3		3		11
総計	1	1	13	12	6	4	2	39

■ポイント1

市民参加制度の認知度は71.8%

問2 あなたは、過去にどのくらい市の施策や事業にご自身の意見を提案したことがありますか？

【問1で「意見等を提案できることは知っていた」と回答した方のみ】

問2 設問	年齢別							総計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
意見を提案したことはない		1	6	5	4		1	17
1～3回			3	4		1		8
7～9回					1		1	2
10回以上					1			1
(空白)								
総計		1	9	9	6	1	2	28

※「4～6回」は回答者なし

■ポイント2

市民参加制度は知っているのに、市民参加をしたことがない市民が多数（60.7%）
 ⇒なぜ提案をしないのか尋ねる設問が必要だった？

問3 あなたは、市の施策や事業の企画立案・実施や評価、条例の制定等に参加したいと思いますか？

問3 設問	年齢別							総計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
ぜひ参加したい			6	3	1			10
できるかぎり参加したい	1	1	4	6	2	3	2	19
あまり参加したくない			1	1				2
参加したくない					2			2
わからない			2	2	1	1		6
総計	1	1	13	12	6	4	2	39

■ポイント3

市の施策や事業の企画立案・実施や評価、条例の制定等に「参加したい」「できるかぎり参加したい」と回答した市民は74.4% ⇒7割を超える市民に潜在的な参加意識がある

問4 参加したくない主な理由は、どのようなものですか。(複数回答可)

【問3で「あまり参加したくない」、「参加したくない」と回答した方のみ】

設問	年齢別							総計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
回答者数(母数)	0	0	1	1	2	0	0	4
参加する時間がない			100%	100%	50%			75%
一緒に参加する仲間がない								
精神的・肉体的に負担がかかる			100%		50%			50%
内容が難しい								
参加しても市政に反映されるとは思わない				100%				25%
関心・興味がない、気が進まない、テーマが自分にとって関係ない								
議会があるから市民が直接市政に関わる必要はない					50%			25%
その他								

問5 あなたが、市の施策や事業に関する情報を知る手段は何ですか？(複数回答可)

設問	年齢別							総計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
回答者数(母数)	1	1	13	12	6	4	2	39
広報北広島		100%	85%	75%	67%	100%	100%	79%
市のホームページ		100%	92%	83%	83%	100%	100%	87%
自治会の回覧板・掲示板	100%	100%	38%	17%		75%		31%
市役所・各出張所等の窓口・掲示板			8%					3%
公共施設(地区会館・図書館・エルフィンパーク交流広場等)の掲示板			8%	8%		25%		8%
新聞・ラジオ			8%	17%	17%	50%		15%
知り合いからの口コミ			15%	17%				10%
その他			15%	8%				8%

■ポイント4

10代の回答者を除くほぼ全員が、広報北広島(79%)か、市のホームページ(87%)を見ているという結果(パブコメの資料を整備している「市役所・各出張所等の窓口・掲示板」は3%と少ない)

(その他)

○市から発信されてる情報が上記以外わからない為(40代/広報北広島、新聞・ラジオ)

○理由ですか？市が何をしてるのか、私にとってどんなメリットがあるのかわからないから参加したいかどうか、わからない。ただ、ネットで回答できるのは空き時間に簡単に答えられて良いと思う。(30代/広報北広島、自治会の回覧板・掲示板、公共施設の掲示板、知り合いからの口コミ)

○市議会だより(30代/広報北広島、市のホームページ)

※原文のまま掲載しています。

問6 あなたは、全般的に見て、市の施策や事業が、市民の意見を十分反映して行われていると思いますか？

問6 設問	年齢別							総計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
ある程度反映されている	1	1	4	2	1	2	2	13
あまり反映されていない			2	5				7
ほとんど反映されていない			4	2	2			8
わからない			3	3	3	2		11
総計	1	1	13	12	6	4	2	39

※「かなり反映されている」は回答者なし

■ポイント5

「ある程度反映されている」と回答した市民が33.3%であるのに対し、「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」と回答した市民は38.5%とやや高い。

また、「わからない」と回答した市民も26.5%と高かったことにも注目。

⇒市民意見の取り扱いに課題がある&市民参加の結果が目に見えない

問6(クロス集計…問1・問2×問6)

設問	意見等を提案できることを知っていた				意見等を提案できることを知らなかった	総計
	0回	1~3回	7~9回	10回~		
ある程度反映されている	7	2	1		3	13
あまり反映されていない	5	1			1	7
ほとんど反映されていない	2	3	1	1	1	8
わからない	3	2			6	11
総計	17	8	2	1	11	39

■ポイント6

意見提出者（過去に1回でも市政に意見を提出したことがある市民）の方が、意見を提出したことがない市民より、「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」の回答率が高くなっている。

意見提出者：46.4%、意見を提出したことがない市民：18.2%

問7 市民参加のあり方についてご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

○施策や事業の事案の検討を役所の中だけでするのではなく、もっと地域に入って聞ききてほしい。声を持っていけない人いる、広報周知活動がぜんぜん足りない。時代に合った情報の配信の仕方をしてほしい。地域の方の力を信じてもっと任せてほしい。住民の活動をもっとサポートしてほしい。(30代)

○市からの情報の発信、市民への情報の歩み寄りが低く感じます。(40代)

○郵送でのアンケート依頼が来た事がありますが、その結果をHPに公表して欲しいですし、それによって市政に反映された事がわかるようにしてほしいです。

市民参加をよりしやすくするために、審議会の時間帯、年代別など区別してはどうでしょうか？ また謝礼や交通費を出すなどして、まずは興味を持ってもらい、参加してもらおうのいいかと思います。(30代)

○今はメールでのやり取りも主流になりつつあります。

市民の意見窓口もメールでの受付が可能であると気軽に参加しやすいと思います。

町内会役員が何年も変わらず、町内会のお金の使い方の不透明さがあり、監査役員が自らの経営する店を出しているとされるオードブルを町内会費で購入するということが常習化されていること、監査役員は町内会費に全く関わらない人がやるべきだと考えますが、全く聞き入れない役員たち。放し飼いのネコについてトラブルもあり、条例で定めていれば解決しそうな問題があります。個人の問題も充分に有りますが、相手に伝える上で効力のあるものがないため、早急に検討していただきたいと考えています。

ここにかくことではないかもしれませんが、困ってる人はうちだけではありません。(30代)

○以前、公園整備に小学生の意見を受け付けているのを見て「良いことだなあ」と思いました。積極的に市に働きかけるかどうかに関わらず、市民それぞれに、問題意識を持つ分野があると思います。その問題意識をうまくすくいあげるようなやり方がほしいです。(30代)

○指定管理者の事業等の詳細を知りたい。(70歳以上)

○自由にとは、何を書いて良いかよくわからない場合が多く、簡単にイエスかノーかで判断せざるを得ない解答欄にするとよい。(30代)

○町内会経由の意見主体で、あまり若い人たちの実感を反映していなような気がする。(30代)

※原文のまま掲載しています。